

とるべきポジションの声明

作業療法士は、よい精神的健康と幸福を促進する状況で仕事をする。その際に、精神保健の問題が発症するのを防ぐことと、精神保健の困難を経験している人の回復を促進することの両方を意図する。

作業療法士は、人々が日常生活に参加し、結び付くことができるように、ホリスティックな、生物心理社会的な、パーソン中心のアプローチを用いる。このアプローチは個人がすでにもっている潜在能力(ケイパビリティ)と強み(ストレングス)を使うことを奨励するアプローチである。作業療法士がもつ関係性の構築と、自己の治療的使用という専門技能は、心理社会的リハビリテーションとリカバリーのためのきっかけを提供し動機付けとなる意味のある活動を決定する上での重要な道具となる。

作業療法士は、エビデンスに基づいた個人的アプローチとポピュレーションアプローチを使って、人々が自分のコミュニティにおいて、活動的に生産的になることができるようにする。この介入に含まれるのは、技能トレーニング、教育、グループワーク、セルフマネジメントやストラテジーで、コミュニティを奨励し、インクルージョンと参加を奨励するためのものである。

環境の評価と適応も作業との結び付きを促進する助けとなり、ソーシャルサポートとネットワークを決める。

作業療法は、日常生活の参加を可能にし、健康や幸福や生活の質に影響を与える。作業療法士は、作業的公正のために、家族や介護者を含む精神保健の問題を経験しているすべての人のためのエンゲージメントへの平等なアクセスと機会のために主張する際の専門技能をもつ。

作業療法にとってのポジションあるいは問題の重要性についての声明

作業療法の哲学では、症状の寛解は精神保健の問題からの回復のためには不十分だと認識している。心理社会的問題は、人々の回復の経験、地域との関わり、生活の質に複雑な影響を与えるということも認識している。

ある地域において、精神保健サービス提供者の不足は、作業療法士にとって実践モデルを拡大し、自分たちが最初のサービス提供者となる機会となる。大勢の作業療法士がいる国は少なく1、作業療法士は、(全住民を対象とする)コンサルティングアプローチにおいて、より効果的に雇用されるかもしれない。WFOT 会員組織は、人材ニーズの評価を必要とするかもしれない。それは、新しい、あるいは拡大されたサービスを開発・準備するための客観的分析を行うためである。

作業療法は、個人個人の独自性に価値をおくことにより、リカバリーを目指す実践と一致する。それは、選択と機関を提供し、尊厳と尊重を促進し、パートナーシップアプローチをとる。そして、適度な挑戦となるような対応的サービスを提供するために、継続的に評価をしながら進行する。

コミュニティや社会にとってのポジションの重要性の声明

よい精神保健は、人々が自分自身の潜在力を認識し、人生の通常のスレスに対処し、生産的に働き、自身のコミュニティに貢献することを可能にするものである。2. 世界中の4人に1人は、人生の中で、精神保健の問題や神経学的障害をもつ。そして、知られた精神保健の問題を持つ人の3分の2は、保健サービスを求めたことがなく、多くが別の病気ももっている。2. 精神や身体の健康における合致しないニーズの早期発見は、関連サービスで働く作業療法士によって、特定され対処されることがある。

世界的には、精神保健の問題の高い発症率は、学校、職場、家庭での参加、レジャーを行うときに重大な影響を及ぼす。こうした参加のすべては、家族やコミュニティの社会経済活動を行い、貢献するために重要である。

WFOT は国連の持続可能開発目標 3 と WHO 精神保健アクションプラン 2013-2020^{5,2} をサポートし、分野横断の原則とアプローチ、世界的な精神保健の優先課題の中で、行動計画目標を達成するためのパートナーシップを申し出ている。

要約と結論

作業療法士は、精神保健の問題は、個人、その家族やコミュニティのネットワークに広範な影響を及ぼすと認識している。作業療法における専門家として、精神保健の問題の発症を予防し、人々の作業ニーズと潜在力が、意味のある目的のある活動に結び付くことを通して充足されることを確実にしていくために、積極的に取り組んでいく。

<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-and-mental-health> (2020年5月2日 吉川ひろみ・訳)

1. World Health Organization. Mental Health Atlas 2017, Geneva: World Health Organization 2018
2. World Health Organization. Mental Health Action Plan 2013-2020, Geneva: World Health Organization 2013.
3. World Health Organization. Mental disorders affect one in four people. Available from http://www.who.int/whr/2001/media_centre/press_release/en/ [accessed 24 April 2019]
4. Pathare S, Brazinova A, Levav I. Care gap: a comprehensive measure to quantify unmet needs in mental health. *Epidemiology and Psychiatric Sciences* 2018;27:463-7.
5. UN General Assembly. Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development, 21 October 2015, A/RES/70/1. Available at: <https://www.refworld.org/docid/57b6e3e44.html> [accessed 24 April 2019]

Contributors (listed in alphabetical order)

E. Sharon Brintnell (Canada)
Pradeep Gunarathne (Sri Lanka)
Dani Hitch (Australia)
Ritchard Ledgerd (United Kingdom)
Lida Pérez Acevedo (Colombia)
Anna Pettican (United Kingdom)
Narges Shafaroodi (Iran)
Virginia 'Ginny' Stoffel (United States of America)

<https://www.wfot.org/resources/occupational-therapy-and-mental-health> (2020
年5月2日 吉川ひろみ・訳)